

平成 22 年度 事業計画

平成 22 年度における事業計画の概要は次のとおりです。

1. 博物館事業

魅力ある博物館づくりをめざし、常設展示をはじめ特別展・ミニ企画展等の充実、学校教育活動特に総合的な学習への協力等を行い、絹知識の普及と需要の促進に寄与するよう努めます。

(1) 普及事業

ア 一般展示事業

(ア) 「養蚕実演及び蚕種配布事業」

飼育展示期間 4月上旬～10月下旬

蚕種配布対象 県内及び近県の小学校・幼稚園等 約 600 校

(イ) 「ミニ展示」

● 「染め屏風」

会 期 平成 22 年 9 月 14 日 (火) ～10 月 3 日 (日)

● 「つまみかんざし」

会 期 平成 23 年 3 月 5 日 (土) ～3 月 21 日 (月)

(ウ) 「実演会・講習会の開催」

「くみひも実演と講習会」「手作り真綿の講習会」「つまみかんざし講習会」「太糸作り実演と講習会」「まわたの太糸指編み実演」「まゆ人形作り実演と太糸作り実演」等を開催し、繭、真綿、生糸、絹への理解を深め絹需要の促進に努めます。

イ 特別展事業

(ア) 特別展 「シルクロード浪漫 ペルシャシルク絨毯の世界」

会 期 平成 22 年 4 月 24 日 (土) ～5 月 23 日 (日)

豪華なアンティークのペルシャ絨毯から現代活躍中の新進デザイナーによる作品など、あわせて絹製のペルシャ絨毯約 100 点を一堂に展示紹介します。

(イ) 特別展 「華麗なる能装束 稔りの季」

会 期 平成 22 年 6 月 1 日 (火) ～8 月 29 日 (日)

江戸期の能衣装を復原した山口能装束研究所の能装束の中から、豊かな「稔り」を象徴する日本の四季折々の植物意匠作品を中心に華麗なる能装束約 45 点を展示紹介します。

(ウ) 特別展 「第 21 回全国染織作品展」

会 期 平成 22 年 10 月 9 日 (土) ～11 月 14 日 (日)

絹を用いた染織作品を広く全国から公募し、次代をになう新進作家の育成及び染織技術の向上と服飾文化の発展を図るとともに、絹の需要増進に寄与することを目的とします。

(エ)「親と子のかいこの自然科学教室」

会 期 平成 22 年 7 月 17 日 (土) ～8 月 15 日 (日)

体験学習を通して、自然の営みの素晴らしさ、自然と共存することの大切さなどを学ぶ機会をつくり、さらに総合的な学習や理科教育の一助となる支援を行います。

(2) 広報事業

小・中学校をはじめ、新聞、雑誌、報道機関等のほか、電光掲示板やポスター掲示、インターネット等の積極的な利用により来館者の増加を図り、絹知識の普及と需要増進に寄与するよう努めます。

(3) かながわシルク製品等物産展の開催

シルク製品に関わりのある団体及び神奈川県と共同で「かながわシルク製品等物産展」を開催し、横浜港の繁栄を支えてきた生糸、シルクの魅力の周知に努めます。

(4) 博物館実習生の受入れ

シルク博物館では、大学で学芸員資格を取得するため、博物館学を履修している学生の博物館実習を毎年受入れます。

2. 部室提供事業

本年度においては、インターネットの活用等によりテナントの誘致を積極的に展開するとともに、なお一層良質な事務場所の提供に努め、入居率の向上をめざします。

3. 建物及び諸設備等の維持管理業務

旧シルクホテル部分を含め経年劣化した箇所等の修繕計画を立てたうえで必要な営繕を行い、安全の確保や執務環境の整備に努めます。

4. 附帯事業

入館者及び来館者の利便に供するため駐車場の適切な管理運営に努めます。